

高津区おはなしアーカイブ

三田 菊一（みた きくかず）さん
昭和10年生まれ 80歳
川崎市高津区下作延4丁目在住



◆六男に生まれる

高津区下作延に生まれ、記憶では男4人、女2人の6人兄弟です。でも母の話では、昔は生まれて育たなかった子どももいたの
で本当は私は六男になると聞いています。
兄弟はもうみんな亡くなり、今は私ひとり
です。

◆2人の兄は戦死―戦争の記憶

2人の兄は、サイパン、マーシャル群島
でそれぞれ戦死しているので、サイパンに
は旅行会社のツアーで、慰霊に5～6回行
っています。一度、サイパンやマーシャル
群島で戦死なされた遺族のツアーで、日本
からお坊さんを迎えて供養を行った時は、
本当に感激しました。兄弟は多かったけれ
ど、次男は16歳で志願して出征し、一度
も家には戻らなかったです。長男も後を追

うように出征し、兄弟一緒に仲良く遊んだ
という記憶は何もありません。兄は近くの
神社から近所の人に見送ってもらって出征
したことを覚えています。

神明神社には、下作延で戦死なされた4
2名、また、地元で戦災された10名の石
碑があり、戦没者慰霊碑として、昭和57
年11月に地域の皆さんで建立しました。

昭和20年3月9日夜、近くのお寺（円
福寺）に焼夷弾が落ち、家のまわりの竹や
ぶが昼間と同じくらい明るくなったことを
よく覚えています。今の宮前生活環境事業
所辺りに「62部隊」があったので、そこ
を狙って少しそれたんだと思います。

実はこの日、祖父が亡くなっているんで
す。祖父の遺体を家において「申し訳ない」
と思いながら、とにかくみんなで防空壕に
急いで逃げたことを覚えています。空襲警
報のたびに、防空壕に逃げましたね。そん
な怖い生活でした。10歳の時に終戦を迎
えましたが、子どもながら大変なことにな
ったと思いました。

父は、息子2人を戦争で亡くしたことを
いつも悔やんでいました。男の子はみんな
戦争に行く時代でしたからね。私も戦争が
続いていたら行く覚悟はしていました。裏
山のけやきの木のところで、B29が来る
とよく見ていました。大砲を打つけど届か
ないんですね。そこをB29は悠々と飛ん
でいくんです。日本はそこまで届く技術を
持っていなかったんです。ある時、B29

の下に小さな飛行機が見えたのですが…日本の特攻隊の飛行機でした。結局は突っ込んでバランバラになるのを見ました。その時のことは、今でもはっきりと覚えています。



〈神明神社にある戦没者慰霊碑〉

◆中学校の時は陸上の選手

小学校は高津小学校、1学年が240人位、二宮金次郎の像があったことは覚えています。当時、このあたりには高津小学校しかなかったので、下野毛の方からも通ってくる子どももいました。男の子同士でベーゴマやメンコで遊んでいて、女の子と一緒に遊んだ記憶はないですね。竹トンボ、紙鉄砲などは自分たちで作って遊びました。

中学は高津中学校へ通い、陸上部で市の大会に選手として出場しました。自分なりに頑張りましたが、4位という結果で、県大会には出場出来ませんでした。今では良い思い出になっています。高校は、家の仕事を手伝いながら、夜間部に通いました。工場跡地にできた学校で、下はコンクリートでした。今の高津中学校の近くにありました。

◆神明神社

家の裏から細い道に入った左、神明神社に入る裏の階段の角、うちの土地に庚申堂（*道の辻や、寺社や墓地の入り口などによく置かれ、延命長寿にご利益あるといわれる）があります。道しるべですね。鎌倉街道で、先にずっと行くと旧246の笹の原につながっていて、そこにも庚申堂があります。

道の右側は田んぼ、左側は竹やぶだったこのあたりもだんだんに開発が進み、住む人が増えると、その当時の神明神社運営委員会だけでは、神社の行事を執り行うことが大変になるだろうということで、会員を募集したところ、皆さんのご協力もあり、会員が300名程になりました。そこで、昭和61年4月に、神明神社運営委員会から神明神社氏子会に替わりました。規模も大きくなり、行事も活気が出てきて、特に秋の祭礼には大勢の参加があり、大変賑やかになっています。初詣は500人近い人がお参りに来ます。

◆平瀬川の氾濫

平瀬川の氾濫は2回経験しています。

1回目は田んぼに水がつかり、ボートが来たことをよく覚えています。

2回目は、娘が久本小学校から帰って来られなくなって、必死で探したら、七面山（津田山）に避難していたんです。見つけた時はほっとしましたよ。今は、歩いてい

るところは川面から高さがあるけれど、昔は歩いているところがすぐ土手だったのでよく氾濫しました。津田山のところで2本トンネルを抜いてから平瀬川の氾濫はなくなりました。

津田山といえば、火葬場（今のかわさき北部斎苑）が出来るときは地域の皆さんの反対が結構あり、父も猛反対派の一人として捕まったと話していましたね。当時は煙突から煙も灰も出る、そういう施設を市の北部に押し付けないで、という思いからだったようです。

昔は家の裏の水路で、しじみが採れたと聞いています。その頃の水路は、本当に綺麗だったんでしょうね。近所では夜にホテルがたくさん飛んでいて、とても風情があったようです。そんな時代があったとは、とても思えないこの頃です。

（平成27年6月22日取材）